

固着のはがれのモニタリングとその意味

- 固着のはがれやゆっくりすべり(SSE、広い・長い余効すべり)が発生している
 - 地震発生サイクルモデルからの示唆
 - 地震発生サイクルの後半～8,9割
 - 8,9割＝自発的に大地震が起こる状況に近づいている
 - 後半だとしても周囲でM7クラスなどの地震が発生することで誘発が起こりやすい状況
 - M7クラスの地震だけでなく離れた場所のM8,9や近傍のSSEによっても誘発の可能性
 - 誘発＝直後に発生とは限らず、発生のタイミングが早まる

第207回 地震予知連絡会 重点検討課題 (2015/05/22)

モデルから見た固着のはがれやゆっくりすべりの意味

兵藤他, SSI, 2014より

